

特別シンポジウム OS28

日本薬学会理事会企画シンポジウム

日本薬学会における男女共同参画推進に向けた取組み

PSJ's organizational approach to the promotion of gender equality

奥 直人¹, 平井 みどり², 伊藤 美千穂³

¹静岡県大薬, ²神戸大病院薬, ³京大院薬

日本薬学会は男女共同参画社会基本法に基づき、国・地方公共団体、企業、大学等と歩調を合わせて男女共同参画推進に向けた取組みを開始した。そして昨年「男女共同参画社会づくり宣言」を社会に発信した。この中で男女共同参画はもちろんのこと、学会及び薬学の次世代をになう若手研究者を含め、性別年齢を問わず、すべての人が対等な立場で活躍できる社会の実現を目指すこと、このような環境を整備することに日本薬学会として力を入れていくことを確認した。本年会では、男女共同参画に向けた本学会の使命や期待を共有するために、薬学会理事会企画シンポジウムとして本シンポジウムを計画した。初めに、研究者の男女共同参画の現状や若手研究者の現状について述べ、特に国立大学を中心に40歳未満の若手研究者の割合が減少している状況、博士課程への進学率が減少している状況などの説明と、考察を述べたい。さらに大学院進学者・若手研究者の育成や育成支援のために、どのようなことができるかを考えたい。同時に行政府、大学、製薬企業、医療現場のそれぞれの立場から、男女共同参画推進への取り組みや問題点、意見などを述べて頂き、情報を共有するとともに、今後の日本薬学会の男女共同参画への組みに関する意見交換等を行いたいと考えている。